

出雲市デジタル田園都市構想総合戦略（案）について

本市では、令和 2 年 3 月に「出雲市まち・ひと・しごと創生第 2 期総合戦略」（以下「第 2 期総合戦略」という。）を策定し、人口減少対策と持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

本年度は、第 2 期総合戦略の最終年度であることから、これまでの取組状況を検証するとともに、国の総合戦略である「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を勘案し、この度令和 7 年度を初年度とする「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」（案）（以下「次期総合戦略」という。）を策定しましたので、次のとおり報告します。

なお、総合振興計画「出雲新話 2 0 3 0」後期基本計画と次期総合戦略は、整合性を図りながら策定しました。

1. これまでの経過

(1)策定体制

市議会議員、有識者、各種団体の代表等で構成する「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議」を開催し、第 2 期総合戦略の評価検証を行うとともに、次期総合戦略に向けた審議を行いました。

(2)審議内容

月	総合戦略推進会議	市議会
6 月		6 月議会：次期総合戦略策定方針
7 月		
8 月	第 1 回：次期総合戦略策定方針	
9 月	第 2 回：第 2 期総合戦略の評価検証 次期総合戦略骨子（案）について 人口ビジョン（案）及び K P I について	9 月議会：第 2 期総合戦略の評価検証
1 0 月	第 3 回：人口ビジョン（案）及び K P I について	
1 1 月	第 4 回：次期総合戦略（案）について	

2. 第2期総合戦略の成果と課題

(1)出雲市の人口の状況

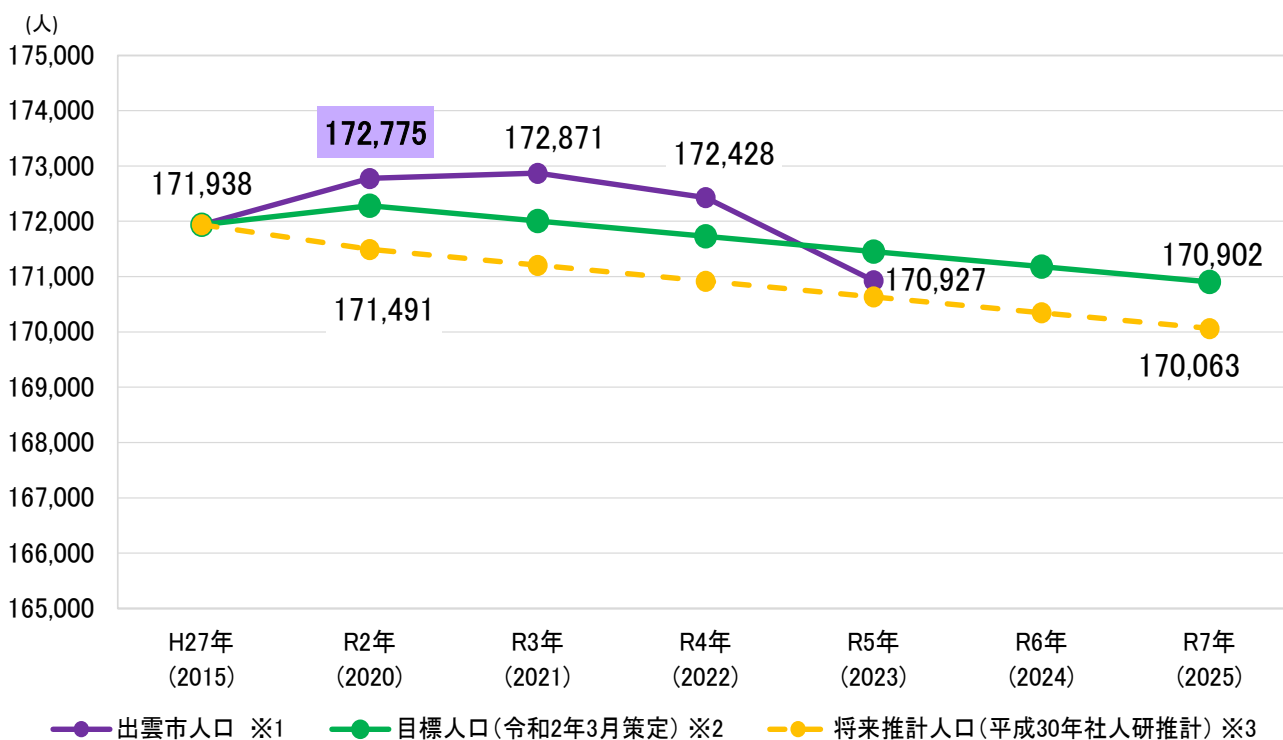
本市の人口は、令和2年（2020）に設定した目標人口に近い状態で推移しており、17万人台を維持しています。

区分	H27年 (2015)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	2025年
出雲市人口※1	171,938	172,775	172,871	172,428	170,927	－	－
目標人口※2	171,938	172,279	－	－	－	－	170,902
将来推計人口※3	171,938	171,494	－	－	－	－	170,062

※1：平成27年（2015）、令和2年（2020）国勢調査人口を基に島根県が転出入及び自然増減を加味して推計した人口。毎年10月1日時点の数値

※2：令和2年に平成30年社人研推計を基に本市が設定した目標人口

※3：平成30年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した本市の将来推計人口（平成30年社人研推計）



出雲市の人口の推移

（出典）国勢調査、島根の人口移動と推計人口（島根県統計調査課）

(2) 5つの基本目標の成果と課題

第2期総合戦略では、以下の5つの基本目標を掲げ、人口減少の抑制と人口減少がもたらす課題の解決に向けて取組を進めました。

①基本目標（1）出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する

数値目標（R2～R6）	実績値（R2～R5）
雇用創出数 1, 0 0 0 人	1, 4 6 5 人 (5年間達成率 146.5%)
4年間 8 0 0 人	(4年間達成率 183.1%)

“ひと”の定住に向けては、魅力ある雇用の場の創出を重要な柱のひとつとし、基本目標に掲げて取り組みました。K P Iとした「雇用創出」については、企業誘致を中心に大きな成果をあげています。

一方、生産年齢人口の減少等により、本市においても産業各分野における人手不足は深刻化しており、人材確保の取組強化が求められています。

②基本目標（2）出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる

数値目標（R2～R6）	実績値（R2～R5）
社会増〔転入－転出〕 1, 6 0 0 人	1, 2 0 9 人 (5年間達成率 75.6%)
4年間 1, 2 8 0 人	(4年間達成率 94.5%)

本市は引き続き社会増となっています。転入の理由をみると、就職や転勤など仕事に関係するものが多くなっています。

引き続き、雇用対策も含めた移住定住施策を推進するとともに、定住志向のある外国人住民の定着に向けた取組の強化が求められます。

③基本目標（3）出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

数値目標（R2～R6）	実績値（R2～R5）
出生数 8, 0 0 0 人	5, 4 6 0 人 (5年間達成率 68.2%)
4年間 6, 4 0 0 人	(4年間達成率 85.3%)

将来的な人口維持につながる出生数は、若年女性人口の減少等の影響もあり、目標値の達成が困難な状況です。

少子化の主な原因としては、未婚化や晩婚化、若者の結婚及び出産に関する考え方の変化、育児に対する不安などが考えられます。

引き続き、若年女性人口の動向に留意しつつ、出会い・結婚、妊娠・出産、子育て・教育の各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援に取り組んでいく必要があります。また、仕事と子育ての両立支援や、困難を抱えている子どもにもしっかりと寄り添う取組も必要です。

④基本目標（４）住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める

数値目標（R2～R6）	実績値（R5）
市民満足度調査 「住みやすいと感じる人の割合」 90%	89.1% (目標年度達成率 99%)

令和5年度に実施した市民満足度調査によると、約89%が出雲市は住みやすいと感じています。

さらに住みやすいまちづくりを進めるため、今後も継続して、頻発する自然災害への取組、人口減少が著しい中山間地域等への支援、医療、福祉、健康各分野における連携した取組、公共交通の充実、脱炭素社会の実現など様々な施策に総合的に取り組んでいく必要があります。

⑤基本目標（５）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

数値目標（R2～R6）	実績値（R5）
中海・宍道湖・大山圏域人口 60万人の維持	62.7万人 (令和6年3月末住民基本台帳人口) (目標年度達成率 104.5%)

中海・宍道湖・大山圏域市長会では、圏域人口の維持をめざし、圏域版総合戦略を策定して広域連携による取組を進めています。

圏域版総合戦略では、圏域人口60万人の維持を目標として掲げていますが、圏域人口は減少傾向であるため、継続した取組が必要です。

3. 出雲市デジタル田園都市構想総合戦略（案）

(1)計画の期間

令和7年度（2025）～令和11年度（2029）の5年間

(2)計画の構成

- I 策定にあたって
- II 現状と課題
- III 総合戦略の基本目標と施策
- IV 人口ビジョン

(3)地域ビジョン（地域がめざすべき将来像）

総合振興計画と整合性を図り、『出雲力』で夢☆未来へつなげ 誰もが笑顔になれるまち」とします。

(4)基本目標

第2期総合戦略との連続性を図るため、次の5つの基本目標を掲げます。

**基本目標（1）出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、
地域の産業を支える人材を確保する**

基本目標（2）出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる

基本目標（3）出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる

基本目標（4）活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくりを進める

基本目標（5）広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす

(5)数値目標と施策体系図

基本目標	数値目標 (令和7年～ 令和11年)	基本的方向
基本目標(1) 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する	雇用創出数 1,250人	①第一次産業の活性化と担い手育成・確保
		②出雲ブランドの活用
		③地場企業への支援
		④企業誘致の促進
		⑤地域の産業を支える人材の確保
基本目標(2) 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる	社会増 2,000人	①移住・定住を促進する
		②出雲の魅力を発信する
		③何度でも訪れたい観光のまち・出雲をめざす
基本目標(3) 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる	出生数 8,000人	①「結婚したい」を後押しする
		②安心して子どもを産み育てられる環境を整える
		③子どもが夢や希望をもって成長できる教育環境を整える
基本目標(4) 活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくりを進める	市民満足度調査 「住みやすいと感じる人の割合」 90%	①安全、安心なまちづくり
		②誰もが健康でいきいきと活躍できるまちづくり
		③共生のまちづくり
		④まちの魅力を高め住み続けたいまちづくり
		⑤持続可能な暮らしが実現するまちづくり
基本目標(5) 広域連携による魅力ある圏域づくりをめざす		①国内外を視野に入れた相互連携の強化

※基本目標(5)の数値目標は圏域版総合戦略の決定後記載する。

(6)具体的施策及び重要業績評価指標（KPI）

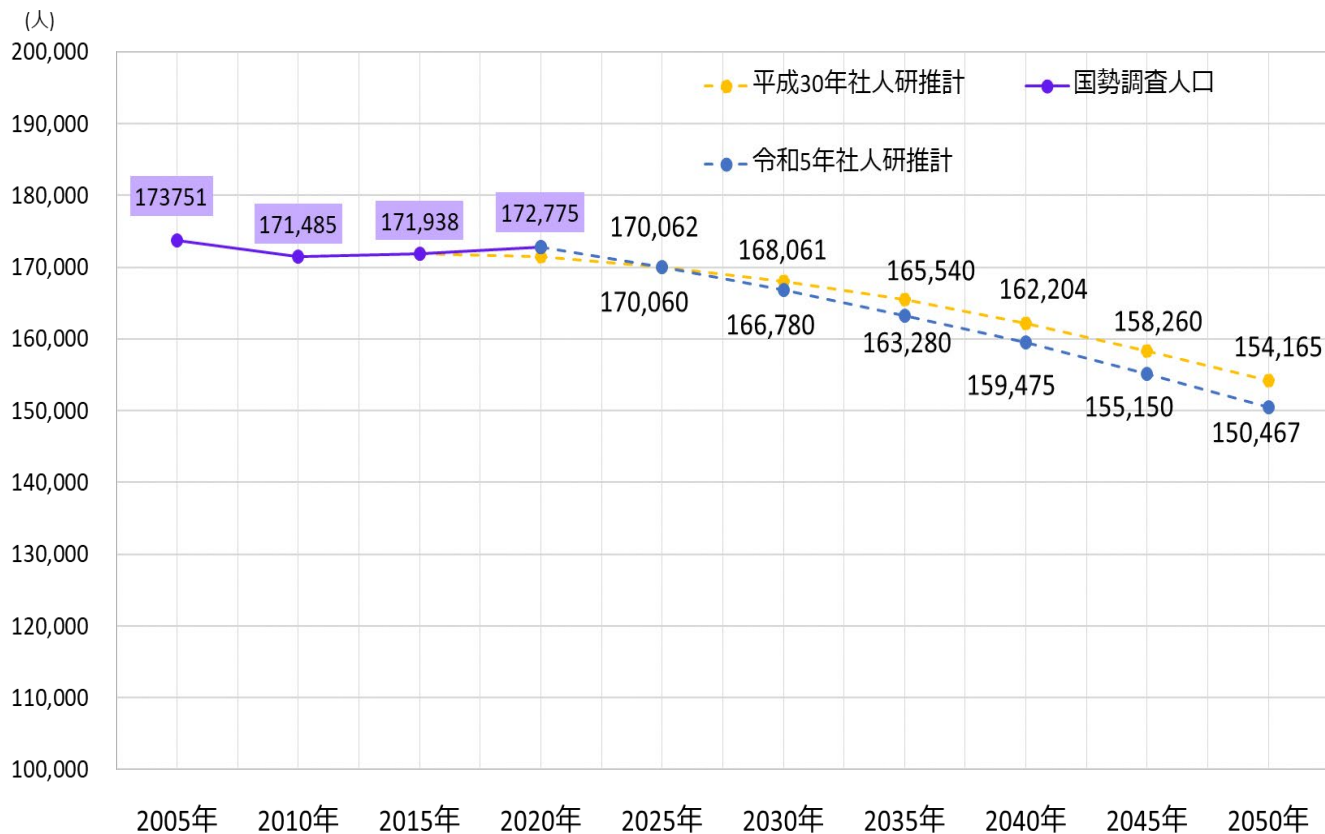
総合戦略の「具体的施策」及び「重要業績評価指標（KPI）」は、総合振興計画「出雲新話2030」後期基本計画に掲げる「具体的施策」及び「まちづくりの指標（KPI）」と同一とします。

4. 人口ビジョン

(1) 将来推計人口

令和 5 年に国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という）は令和 2 年（2020）国勢調査人口を基準とした 2050 年までの新たな将来推計人口を公表しました。

本市の新たな将来推計人口は、前回平成 30 年に公表した将来推計人口より減少が大きくなっています。特段の施策を実施しない場合、2030 年には人口 17 万人を割り込み、その後 2040 年には 16 万人を下回ると推計されます。



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

(2) 政策による効果を反映した目標人口

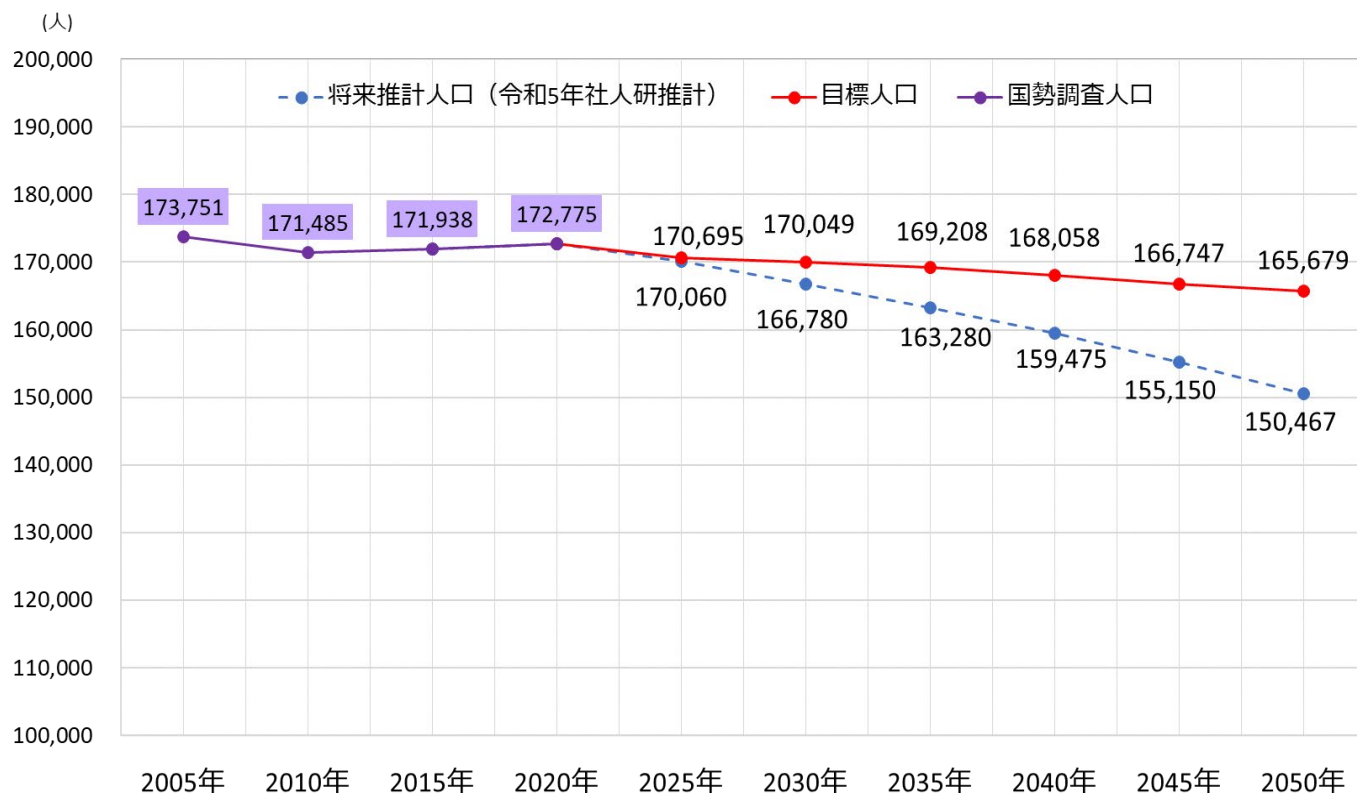
本市は総合戦略に掲げる 5 つの基本目標の達成をめざし、ひとつひとつの施策に着実に取り組みます。

目標人口は、施策による効果を反映した「合計特殊出生率」と「移動数」（社会増）の仮定値を使用し推計しました。

合計特殊出生率		移動数	
年	仮定値	年	仮定値
2025	1. 678	2025～2030	社会増 2, 000 人
2030	2. 100	2030～2035	社会増 2, 000 人
2035	2. 100	2035～2040	社会増 2, 000 人
2040	2. 100	2040～2045	社会増 2, 000 人
2045～	2. 100	2045～	社会増 2, 000 人

(3)目標人口

社人研が推計した将来推計人口よりも緩やかに人口が減少する目標人口の達成のためには、総合戦略に掲げる施策の着実な取組が必要です。



出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

5. 今後のスケジュール

月	総合戦略推進会議	市議会	パブリックコメント
1 2 月		1 2 月議会： 次期総合戦略（案）	下旬～：開始
1 月			～下旬：取りまとめ
2 月	第5回： 次期総合戦略（最終案）		
3 月		3 月議会： 次期総合戦略（最終案）	